

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO
NEWS

2006.7.15 No. 173 発行/(こどもの城)広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1

ビルの群れからUFOが次々と飛び立ってくる。続々と吸い込まれていっているのかもしれない。あるいは、あやしいパルス光線——人によって見方はいろいろだが、「面」のようなものを感じる。

その正体は窓ガラスに映った、てんじょうの照明器具。規則正しく並び、遠くへいくほど小さくなる。奥行きがある、かなり広いオフィスようだ。内と外をへだてる窓ガラスが、くうぜんに2つの世界を重ねてしまった。私がある世界が向こうに吸い込まれてしまったようで、ちょっと落ち着かない。逆さにして見ると、さらに不思議。(写真:中根静男/文:たかべ としき)



L.I.T.(Leader In Training) 高校生のボランティア活動

“遊び”で子どもとふれあう

〔こどもの城〕には、“遊びのボランティア”として子どもたちをサポートする高校生のグループ“L.I.T.(Leader In Training)——トレーニング中のリーダー”がいます。子どもといっしょに活動するボランティアを〔こどもの城〕では“リーダー”とよんでいるので、L.I.T.の高校生はボランティア・リーダーの“弟”“妹”にあたります。

毎年夏休み特別期間には、L.I.T.の1年間の活動の集大成として、〔こどもの城〕に遊びに来る子どもたちを対象として、遊びのプログラムを企画・運営しています。今年も、8月19・20日に「キャッスルアドベンチャー」を行います。

ボランティア活動の楽しさ、よろこびを学ぶ

L.I.T.は、〔こどもの城〕という場所で、初めて出会った高校生たちが“遊びのボランティア”として子どもたちの遊びをサポートしながら、ボランティア活動の楽しさやよろこびを体験的に学ぶ場です。

夏休みあけの9月から翌年8月までの1年間



L.I.T.が企画運営した活動から

子どもの気持ちを理解して活動することが大切

“遊びのボランティア”として、長なわとび、ドッジボール、ままごとなどの自由遊びで子どもたちとふれあいます。幼児や小学生とふれあう経験が少ない高校生にとっては、貴重な体験。子どもを知る第一歩です。

遊びに来た子どもたちから見れば、高校生は“お兄さん、お姉さん”。明るく、笑顔でふれあえば、したわたり、たよりにされたりします。このような子どもたちの気持ちを受け止めることで、高校生も変わっていきます。

にわたって、月2回、日曜日(原則)の活動でボランティアのあり方を考え、遊びのプログラムを企画・運営するほか、合宿などの実習活動も行います。さらに、春休みと夏休みには〔こどもの城〕の野外活動にも参加して豊かなキャンプ生活を支えます。

9月から活動を始めるのは、高校生活になれてからL.I.T.の活動に参加するかどうかを判断してもらうため。3年生も学校の部活動と同じように夏休みで区切りをつけ、受験に取り組むことができます。

たがいに理解しあい、豊かな人間関係を育てる

L.I.T.の活動は、参加した高校生がみんなて話し合いながら決めていきます。ボランティア

子どもたちと遊ぶ楽しさを感じたら、その楽しさを作りだす——遊びをサポートするために、何ができるのか、何をすればいいのかなど“リーダー”のあり方をみんなで考えます。高校生ならではのアイデアと行動力を生かして、さま



L.I.T.が企画運営した活動から



みんなでアイデアを出しあい、8月に行う「キャッスルアドベンチャー」の企画会議

アというのは、人に強制されることなく自分自身の意思で行う活動だから、メンバーの一人ひとりの自発性が大切だと考えるからです。「本人が直接電話で、申し込みをしてください」という募集方法も、一人ひとりを大切にしたいと考えているからです。

通っている学校も、住んでいるところも異なる高校生が集まるので、まずはたがいを理解する・知ることから始まります。自分とは異なる考え方や価値観を持っている人もいます。いろいろな人との出会いをとおして、豊かな人間関係を育てていくことも、L.I.T.の目標の一つです。メンバーの一人ひとりもっている力を生かしていけるグループをめざして、活動しています。

さまざまな形で子どもたちの遊びを支えます。自分たちで遊びのプログラムを企画・運営もします。昨年は4月に1回、その経験をふまえて8月に1回、L.I.T.による遊びのプログラムを行っています。遊びのアイデア、道具や会場作り、当日の運営——すべてを自分たちで行います。今年の夏休みには「キャッスルアドベンチャー」(8月19・20日)を開催します(右上の記事参照)。

「ボランティア活動でいちばん大切なのは、人の気持ちを理解できる＝共感できることだと思っています。特に子どもたちと遊ぶときには、表情やしぐさから子どもの気持ちを理解して活動することが、とても重要。1年間の活動をおして、理解＝共感できる力を育て、ボランティア活動の楽しさや喜びを身をもって理解してほしい」と、L.I.T.の担当者。

8月19・20日に「キャッスルアドベンチャー」

ティール姫を救え!! **小1~3 隊員募集**
7月17日正午から電話で先着順に受け付け

L.I.T.が1年間の活動のまとめとして行う夏のプログラムが8月19・20日に行われます。タイトルは「キャッスルアドベンチャー」。グループに分かれて〔こどもの城〕の館内を探検するアドベンチャーゲームです。先日、L.I.T.のメンバーのところに、ティール姫をさらわれた、リット・エスカ王国のリット王から依頼状が届きました。姫を助けるために“剣士”探偵“まほう使い”の3つの秘密部隊を作ったが、困ったことにメンバーが足りない。そこで、〔こどもの城〕のみんなに協力してもらいたい——。

「キャッスルアドベンチャー」に参加できるのは、小学1~3年生。定員は各日30人(先着順)。10時に〔こどもの城〕に集まって秘密部隊に加わり、みんなで力をあわせてティール姫を助けだす、1日かかるとの大作戦。

- 日時 □8月19・20日。各日10時~4時
- 場所 □〔こどもの城〕
- 参加費 □1,000円(入館料・昼食とおやつ代・保険料などを含む)
- 申し込み方法 □7月17日正午から電話で先着順に受け付け(18日は休館)
- お申し込み・お問い合わせ □企画研修部 [03-3797-5675]

2006 夏休み特別期間
7月21日(金)~8月31日(木)

開館時間 10:00~5:30
入館料 5:00まで、9月14~6日は休館させていただきます。
入館料 小 400円 (3歳以上10歳未満)
おとな 500円

受付は毎日開館!
150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1
☎03-3797-5676 ☎03-3797-5676
http://www.kodomonosiro.or.jp/

夏休み特別期間中(7月21日~8月31日)何回でも利用できるお得なバスを発売しています。(小学生バス)(こども用1,500円)、「わくわくバス」(おとな用1,800円)

9月から始まる L.I.T.のメンバーを8月10日から募集

9月から始まる平成18年度「L.I.T.」のメンバーを募集します。対象は、高校1・2年生で、子どもを対象としたボランティア活動に興味をもって、将来的にボランティア活動をしてみたいと思っている人。参加を希望する人は、保護者に参加の意思を伝えて了解を得てから、本人が直

接電話で申し込んでください。定員は30人。8月10日から先着順に受け付け。年会費は10,000円(通信費・保険代・プログラム費など。合宿経費などは別途)。開講式(1回目の活動)は、9月18日を予定。開講式、個人面談、活動のオリエンテーションを行います。(こどもの城)の専門スタッフと経験豊かなボランティアリーダーが年間をとおして指導にあたります。お申し込み・お問い合わせは、企画研修部 [03-3797-5675] へ。

人と地球の、自然なサイクルのために。

人と自然が調和する持続可能な社会の実現をめざして、富士通グループ15万人、ひとりひとりの力をすべて結集します。私たちは、最先端のITと、環境テクノロジーをベースにお客さまにご提供する製品、ソリューション、マネジメントなど事業活動の全領域を通じて、さまざまな環境活動を行いながら、豊かな地球環境の未来を創造していきます。

すべてをグリーンにします

jp.fujitsu.com/about/eco

FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE



こどもの城となかまたち

造形遊び・運動遊びなどをとおして “遊びの専門技術”を再確認

50人が参加して児童厚生員等実技指導講習会開く

平成18年度第1回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会が、6月7・8日の2日間にわたって開かれました。

平らでいくと、だんだんしなやかな手触りの布のようになります。紙の布で体の一部である足を包み、のり付けて“くつ”を作り、飾り付けました。

折り目のないピンとした状態で使うことが多い紙を、あえてくしゃくしゃにしてしまうという発想の転換は、参加者にとって新鮮な驚きだったようです。

もう一つは、新聞紙に鉄筋の力強さを与えて、大きな構造物を作るプログラム。4グループに分かれ制作に取り組みました。

はじから巻いていって、直径が1〜2cmの細い棒にします。6本の棒を使って正四面体(テトラパックの形)を作り、それぞれのかどをゼロハンテープでとめます。



細く丸めた新聞紙でジャングルジムのような構造物を作る造形遊び

どで飾り付けて完成。グループで楽しむ、造形遊びです。

紙という素材から、異なる性質を引き出し、それを生かしたプログラムを体験しました。

2日目は、運動遊びとレクリエーションゲームなどの指導法。運動遊びでは、当たっても痛くないスポンジ製のフライングディスクを使った遊びを体験しました。

ディスクを使ったドッジボールのようなゲーム“ドッチビー”やフライングディスクを使った究極の競技“アルティメット”にチャレンジしました。

どは落ちますが、教室程度の広さがある室内で楽しむことができる利点もあります。

また、飛んでくるディスクに対する恐怖感もなく、小さい子どもでもディスクを使って遊ぶことができま



スポンジ製のフライングディスクを使ってスポーツ遊び

順番など、子どもたちの気持ちに思いを巡らせた指導者のあり方を学びました。

最後に、今回の講習会で体験した遊びのプログラムを踏まえて、“遊びの専門技術”に必要なとされるものを一人ひとりの参加者がリストアップ。

楽しい夏休みをすごすために It's! ライフセービング

7月17日の「海の日」に地下2階プールで

キラキラと輝く太陽のもと、海辺やプールで水遊びを楽しむ季節がやってきました。海辺での遊びは、うっかりすると重大な事故につながってしまうことがあります。

っ張ってくる、身の回りにあるいろいろなものを使って浮いてみるなど、プールに入ってライフセービングの実際を体験します。

「It's! ライフセービング〜楽しい夏休みをすごすために〜」は、以下の要領で開催します。

□日時 7月17日 10時30分〜12時

□場所 プール(地下2階)

□対象 小学生以上の子どもの保護者も参加できます

□定員 30人(体育受付で、先着順に受け付け)

□参加費 500円(1人)



服を身につけたままプールに入って、着衣水泳も体験します

8月13・14日に「つくって演じる人形劇2006」 カラーウレタンで人形を作り、演じ方も学ぶ

児童館、保育所などで児童の健全育成にかかわっている人や人形劇に興味がある人などを対象に「つくって演じる人形劇2006」の講習会を開催します。

のつかい方、演じ方を学びます。 □日時 8月13・14日 10時〜4時(原則2日間コースですが、どちらか1日のみの受講も可。要相談)

□場所 [こどもの城] 研修室

□対象 児童館、保育所などで児童の健全育成にかかわっている人や人形劇に興味がある人(高校生以上)

□定員 40人(先着順に受け付け)

□受講料 6,500円(2日間。材料費込み)

□お問い合わせ・お申し込み 企画研修部【03-3797-5675】

「アート玩具」やオブジェ制作に取り組み「夏休み造形教室」の「カプレン」や「西向LAND」「超珍スコープ」(4歳以下)「A(アート)・T(トレース)・カメラ」。



「タマ」は、セネガル出身の世界的な演奏家、ワガン・ンジャエローズさんが、制作・演奏を指導。

開講日時や受講料、受け付け状況など、くわしいことは、講座・クラブ受付係【03-3797-5666】にお問い合わせください。

子どもだけで溺れている人を発見したときにどうすればよいか? 溺れそうになったときライフセーバーにどのように伝えられるのか?—などの基本的な事柄のほか、着衣水泳、レスキューチューブを使って引



「健康スポーツ教室(太りすぎクラス)」の子どもたちが、23区内の数少ない自然—等々力深谷(世田谷区)を散策後、二子玉川の河原まで歩いて、スポーツ遊び。楽しく体を動かして遊びました(6月17日)。

8月5・6日 こどもの城 保育セミナー 子どもの育ち・社会の育ち PART II ~子どもを大切に社会を考える~

地域・社会の役割、世代間交流をテーマに

家族や地域社会にも広く目を向けた家族支援プログラムの実践をテーマにした研修会を、保育研究開発部

まで。保育セミナーのプログラム概要は下記のとおり(敬称略)。

5日 基調講演「企業と子育て家庭」岩田喜美枝(株)資生堂取締役執行役員

6日 分科会I「ワークショップ〜明日から活かせる保育実技PART II」

分科会II「親を幸せにする保育〜子どもが幸せになれば、どんな親でも変わる」

分科会III「全ての親とうまくつきあうために〜苦手な親、難しい親をどう理解するか」

分科会IV「子育て支援プログラムに取り組んでいる保育士や栄養士などの専門家

が、それぞれの立場で最新の話題を伝えました(写真上)。

6月24日には、「保育関係者が行う子育て相談研修会(基礎編)」が開かれ、60人が参加しました。

讃岐国分寺子供太鼓「勝運」=第4回祖太鼓部門青少年の部・最優秀賞(写真=藤田真郷)



第5回東京国際和太鼓コンテスト 8月26・27日 青山劇場

祖太鼓(青少年/一般)各10チーム、大太鼓10人が本選へ

青山太鼓見聞録〜打ち込みの美学

TAIKO JAPAN 2006「青山太鼓見聞録〜打ち込みの美学」が、8月29日に青山劇場で開かれます。

8月29日 青山劇場

した(下記のとおり)。敬称略・演奏順)。

本選は、26日が祖太鼓部門青少年の部(1時開始)、27日が大太鼓部門(11時30分開始)と祖太鼓部門一般の部(3時30分開始)。

【大太鼓部門】富田和明(神奈川県)、村下正幸(大阪府)、湯沢元一(東京都)、栗原史幸(東京都)、内海いっこう(兵庫県)、塩尻浩司(岡山県)、碓氷正典(栃木県)、吉村純一(愛知県)、菅原光朗(東京都)、澁谷巴人(東京都)

【祖太鼓青少年の部】御殿場市立南

「TAIKO JAPAN 2006」和太鼓カレッジプログラムのなかには子ども向けのワークショップもあります。

さまざまな音を生み出す「打ち込みの美学」に焦点をあてました。

出演は、「大太鼓」(アート・リー、山部泰嗣)、「三つ打ち」(炎太鼓)、「源流太鼓」(ゆふいん源流太鼓)、「ING」(藤本吉利、今福優)、「弓ヶ浜の祭太鼓」(南伊豆町奏)、「大太鼓」(藤本吉利+地下栄美、今福優+木下千恵子、締め太鼓=山田瑞恵、浅野町子)。

青山円形劇場

8月26・27日(開) 03-3595-4834 ●TAIKO JAPAN 2006「青山太鼓見聞録」(打ち込みの美学)

中学校(静岡県)、舞臺琉太鼓(沖縄県)、和太鼓楽 龍の鼓(大阪府)、子不知太鼓(新潟県)、雨鳴太鼓保存会(山梨県)、知多半島 和太鼓こころ会じゅにあ(愛知県)、須恵東中学校太鼓部(福岡県)、讃岐国分寺子供太鼓「鼓舞」(香川県)、大樹寺小学校和太鼓部「阿吽」(愛知県)、北芝太鼓「鼓吹」(大阪府)

【祖太鼓一般の部】海燕(愛知県)、杉山社中(埼玉県)、舞臺琉太鼓(沖縄県)、批魁鼓(埼玉県)、玉川大学和太鼓チーム(東京都)、鬼島太鼓(長野県)、和太鼓 otogi(愛知県)、太鼓楽 楽~RAKU~(千葉県)、和道 深江太鼓(長崎県)、和太鼓道場 ドンドコ(東京都)

演は7時。S席=4,000円、A席=3,500円。

前日の28日には、青山円形劇場でトーク&ミニライブ「見聞録外伝」。

演は7時。S席=4,000円、A席=3,500円。

お問い合わせは、青山劇場【03-3797-5678】

▽7月21~23日 入場無料(応募制招待) (開) 03-3797-5678 ●こどもの城+ネルケプランニング プロデュース「南の島の熱い夜」

●PARCO PRODUCE Noel Coward's COMEDY「プライベート・ライズ」

青山劇場 少年隊 PLAYZONE 2006「Change」

インフォメーション INFORMATION

Bスタジオの催し

施設見学